

目次

■ 新たな局面を迎えたロシアIT市場 鳴沢 政志 1	
— 数値で見る市場の最新動向 —	
■ 『ロシアNIS調査月報』2014年7月号のご紹介 10	
■ トピックス 11	
横河とロスネフチが戦略的パートナーシップ / 11	
東洋ゴムがロシアにおいてタイヤ増販 / 11	
計量や包装機のイシダがモスクワに拠点 / 11	
ミニストップ、カザフから撤退を発表 / 11	

新たな局面を迎えたロシアIT市場
— 数値で見る市場の最新動向 —ロシアNIS経済研究所 研究員
鳴沢 政志**はじめに**

今速報では、各調査会社などが発表しているデータを基に最近のロシアIT市場について、全体的な状況をまとめてみる。IT市場といっても非常に広範囲になってしまうため、今速報ではロシアにおける「通信の利用状況」、「移動体通信事業者の状況」、「通信端末市場の状況」を中心にまとめることで、ロシアのIT市場の基本的な部分をご紹介します。

近年、ロシアにおけるインターネットの利用者数は順調に増加してきたが、最近はその増加率が減速してきている。これは、従来大都市を中心に拡大してきたインターネット市場がすでに飽和しつつあり、利用者数が頭打ち状態にあるためにおきているといえる。

しかし地方都市のインターネット利用者が増加傾向にあり、全体的に見れば、ロシアの潜在的なインターネット利用者はいまだ多く、今後も拡大していくと考えられる。加えて、スマートフォンやタブレット端末の普及、クラウド・サービスをはじめとするインターネットを利用した様々なサービスも市場に登場しており、ロシアのIT市場が今後もさらに成長していく可能性は大いにあるといえる。